

5月最終週になりました。さわやかな風が吹いています。

ようやく出口が見えてきました。来週から分散時差登校ができそうです。明日の「課題回収・配布日」の登校時に詳しいプリントを配布しますので、見てください。



左の色紙には「清く あかるく 素直であれ」と書かれています。これは平成28年全国日本音楽教育研究会全国大会函館大会で函館を訪れた際、帰りに立ち寄ったトランプスチヌ修道院の売店で購入しました。様々な言葉が書かれた色紙がありましたが、私は迷わず、この言葉を選びました。そのうえ花の絵もかわいくて。一緒に行った友達に「ぴったりな言葉だね」と言われましたが、気に入っている言葉です。これまでもずっと校長室にこの色紙を飾っていました。府中七中でも、飾っています。私が心掛けている言葉の一つです。

「清く」とは、けがれがない、さわやか、純だということ。「あかるく」は朗らか、明朗だということ。「素直であれ」は考え・態度などがまっすぐなこと、心が純真さを失っていないこと。いくつになってもこうありたいと思っています。

学校再開されたら、全校生徒皆さんと面談を行います。校長室に色紙が飾ってありますので、その時に見てくださいね。

明日、また会えることを楽しみにしています。

七中生へのメッセージ（5月25日）

政府の緊急事態宣言が継続している東京都ですが、今月末には解除が予想される報道が出ています。

学校では、5/12から「課題回収・配布日」を設定して週に1日短時間ではありますが、みんなの顔を見ることができて安心しています。

さて、今回はお勧めの本を紹介したいと思います。これらの本は、自分の価値観を広げてくれる本です。中には、イラストなどで見やすくなっている本もあります。私は読書という習慣が身につけていなかったのですが、これらの本はほぼ1日で1冊読むことができました。特に3年生には読んでもらいたいなと強く思っています。

「1度読んだら絶対に忘れない日本史の教科書」	山崎圭一
「1度読んだら絶対に忘れない世界史の教科書」	山崎圭一
「なんのために学ぶのか」	池上彰
「なぜ僕らは働くのか」	池上彰
「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」	ブレディみかこ

読書が苦手な私でも読むことができたので、お勧めします。

（3）年（1組 担任）

先週末から気温の変動が激しい日々が続いていますが、体調は整っていますか？東京都もコロナウイルスの新規感染者が減っていき、少しずつですが明るい兆しが見えてきたように感じます。

週に一度、生徒の皆さんが学校にやってくる姿を見て、私はパワーをもらっています。来週も皆さんが元気に登校してくることを楽しみにしています。

生活リズム（特に起床時間と就寝時間！）は気をつけていますか？普段の生活に戻るのはまだまだ先かと思いますが、1日の生活の流れだけでも元通りにしておく工夫をしてみましょう。

この1か月の間で読んで面白かった本を紹介します。『かがみの孤城』（著：辻村深月）という本です。登場人物が中学生で皆さんにも親しみが持てると思いますし、伏線の回収にとっても圧倒されました。時間があれば、ぜひ読んでみてください。

1年副担任、1～3年社会科担当